

## 第2回まち・ひと・しごと創生推進会議（議事要旨）

1 日時 平成29年7月28日（金）午後3時00分～午後5時00分

2 場所 上天草市役所大矢野庁舎 書庫棟2階会議室

3 出席者 別紙のとおり

4 議事次第

(1) 開会

(2) 座長挨拶

(3) 議事

(4) ワークショップ「上天草高校をもっと魅力的にする大作戦」

(5) その他

①今年度の地方創生推進交付金事業について

②上天草じぶん学舎について

5 配布資料

資料1 地方創生交付金事業の検証結果

資料2 地方創生関連交付金を活用した事業について

資料2-2 今年度実施する地方創生交付金事業について

6 議事概要

(1) 開会

事務局から、平成29年度の第2回会議開会を宣言。

(2) 座長挨拶

前半は会議を行い、後半は高校生を交えてワークショップを行う。ぜひ活発なご意見を出していただきたい。今日は熊本大学の学生や、くまもとDMC（以下「DMC」）の方も参加いただいている。総合戦略の検証結果を踏まえた今後の対応ということで、今年からいかにまち・ひと・しごと創生を推進していくかがポイント。これから常に前向きな意見が出ればいいと思っている。

(3) 議事

総合戦略の検証結果を踏まえた今後の対応（KPI、各事業の見直し等）本議事の要約は以下のとおり。

※発言者は次のとおり表記する。

担当課：各事業担当部署、金融：金融機関代表、教育：学校代表、産業：事業者代表、アドバイザー：DMC  
上記以外を「構成員」とする。

事務局：【別添 様式1 読上げ】

座長：各課から説明等あればどうぞ。

担当課：（企画政策課移住関係について）資料（様式1）相談件数については、少しずつ伸びながらもなかなか目標を達成するには難しい状況だが、一生懸命取り組んでいく。「市対応による移住者数」は非常に順調に伸びてきている。そこで、現在の目標値である105件から上方修正し、200を目指すということで取り組みたい。昨年度から移住者に対する支援金の制度を設け、空き家バンク制度をセットするなど、いろいろな取り組みをやっている。それらをうまくかみ合わせながら高い目標を目指し頑張っていきたい。ぜひ他の課もチャレンジをしていただきたい。

座長：ロバートの秋山さんを使ったPVは学生たちもよく話題にしている。まち・ひと・しごと創生事業は、上

天草が住みやすいまち、生きやすいまちになればそれでいいと思う。チャレンジという言葉のとおり、できるところからどんどんやっていっていただきたい。リクエストとしては、上天草に移住して良かったという声を見える化し、どんどん情報発信して行って欲しい。移住された方々の声が定期的に聞けるなど、口コミのように広がるといいと思う。本日はアドバイザーとしてくまもとDMCから参加していただいている。本件について意見等ないか。

DMC：私は肥後銀行からの出向で、銀行の中では「まち・ひと・しごと」ではなく、まず仕事があり、人が来て、まちができるという「しごと・ひと・まち」の順番で動いている。行政もいろいろと後押ししているが、我々は“仕事を作る”お手伝いをするビジネスとして設立しているため、こんな仕事を作り出したい等のお話があれば力になりたい。これからよろしくをお願いします。

座長：DMCではどんなことができるか教えてください。

DMC：熊本DMOの考え方に基づき、昨年12月に肥後銀行と熊本県と地震の復興のために作ったファウンドで構成されており、資本金5千万円で設立された。DMCの機能としては、マーケティングやブランディングのほか、プロジェクトの立ち上げを行うコンサルティング機能。旅行業者として来訪者にしっかり楽しんでもらえるような旅やアクティビティの整備を支援し、プランを組立て販売するランドメーター機能。地域の物産を国内外へ販売する地域消費機能がある。4月から香港の料理店で熊本の食材を使った料理を提供している。また、アウトプットのの一つとして情報・旅を売る・物販もするというサイトを立ち上げた。その他、投資家に対して地域のもを集めて直接販売を行い、旅を自分たちで作っている。すごくいい取り組みでも実際に事業者の方が実施するとなると、ハードルが高い場合があるため、一緒に解決していく。

座長：ありがとうございます。まずは旅先に選んでもらうことが大事で、その部分をマネジメントし、サポートしていただけるのがDMC。ぜひ、協力して進めていきたい。

事務局：今年6月にDMCと連携協定を結び、上天草市にとってはアドバイザーとしてのDMCの役割は非常に大きい。特に様式1の「②の外国人の宿泊者数」については、今後の対応策として“受入れ態勢の整備”を挙げている。ただ、受入れ態勢を整備したからといってインバウンド客が増えるわけではないと思う。併せて、こちらから戦略的に向こうに刺さる情報を発信しなければならない。ターゲットを明確にしたうえでどんなニーズがあるか、それに対する効果的な情報発信の手法等、ぜひアドバイスをしていただきたい。単なる受け入れ態勢の整備だけでは不十分ではないかという点を担当課に聞いてみたい。

座長：では担当課の方。常に新しい事業をやっているが、今のお考えを教えてください。

担当課：特にインバウンド客は長期旅行が多いため、平日入込客を期待できる非常に大切なお客であるが、市民の方や観光事業者は“言葉の壁が高い”“素行が悪い”というイメージからインバウンド客の大切さをまだまだ認識されていない状況。まずはできることとして、インバウンド客の必要性を理解してもらい、受入環境の整備を行っていただきたい。先ほどの、ターゲットを絞った消費者に刺さるような情報発信も並行してやっていきたい。現在、旅行客のメインターゲットは、台湾、香港、シンガポールといった新しいエリアに目を向けており、旅行の客単価の高い国をメインのターゲットに置いていきたい。また、サイクリングに特化した情報やイルカウォッチング、和食など、情報の見せ方も工夫していく。

座長：ありがとうございます。来年夏に崎津集落が世界遺産に登録される予定。長崎から「ビッグアース」という船が毎週末来ているが、非常に苦戦している状況。天草市・崎津だけでやるのではなく、苓北から上天草、三角までの広域で連携するほうが良い。観光ガイドについては、コアなのでもいいので、“上天草に住んでいる人はみんなガイド”という形でやっていくと、まちづくり的にも良い。ぜひいくつかの課題を一挙に解決できる方法等のアイデアがあれば。また、他に何か気になる点はあるか。

構成員：資料の中で、問題点・課題点が「特になし」という部分が気になる。問題・課題点が特になしということとは、今のままで全てOKということか。様式1最後の「地域子育て組織の活動回数」については、対

応策も「特になし」とのこと。何かしら今後の対応等ないのか。

担当課：本案件については「上天草市こども子育て支援事業計画」に沿った数値を挙げている。本計画の数値は目標を達成しているため特に問題はない。計画期間は5年間で、今後見直しがあるため、少しずつ変わる可能性がある。

座長：ありがとうございます。これまでも子育て事業サービスを継続してやってこられて、特にまち・ひと・しごと創生で新しいことをする必要がなく、着実に成果を上げられているからこのような回答をされているのということ。いま福祉課で何か困っていることはあるか。

事務局：(補足) このことについては、対象となる事業所数も増え、活動回数も増えているため、目標を毎年達成することは、ほぼ確実だと思う。あとは、内容を充実させるという点で、今後担当課においても検討していただく必要がある。

座長：子どもの数は減っているのに対し、活動は増えているとは。

事務局：活動の場が増え、支援ができるようになってきている。そのエリアが広がっているというのは間違いはないが、実際にその施設を利用する子どもの数は減ってきている状況。

座長：そのほかいかがか。このKPIは数字が全てではなく、見直すという検討があれば、事務局に伝えていただきたい。

事務局：この会議の結論として、数字の修正や取組みの方向性の変更といった見直し案について、承認をいただければ。

座長：それでは、拍手をもって承認としたい。

#### (一同拍手)

#### (4) ワークショップ「上天草高校をもっと魅力的にする大作戦」

ワークショップはワールドカフェ方式で実施。

前半は上天草市・上天草高校の「“○”いいところ、“×”伸ばしてほしいところ」について

後半は上天草市・上天草高校の「“×”から“○”に変えるために、この夏から始められること」についてワークショップでの意見は次のとおり。

##### ①「ぎゃんしがおる！」

上天草市のイメージアップのためにOG・OBを紹介する展示会を高校で開催。

##### ②「あえて隠してます♡」

上天草市のお店・人など、地元では気づかない魅力を、外から来た人に見つけてもらい、発信してもらおう。

##### ③「天草知ろう！案内人募集！」

高校生にガイドを教え、実際に観光客に案内をする。上天草を深く知るきっかけになる。

##### ④「売店で上天草を食べる！」

高校の売店で市内の特産品や6次産品を販売することで、市内事業者を知り、興味を持って調べ、SNS等で発信する。

## 平成29年度 第2回 上天草市まち・ひと・しごと創生推進会議構成員等名簿

区分	所属等	氏名	備考	会議
産	一般社団法人天草四郎観光協会 事務局長	杉本 健一	観光分野	×
	あまくさ農業協同組合大矢野統括支所 指導販売課長	川本 純一	農業分野	○
	株式会社マルマサ浜田鮮魚 取締役	濱田 真和	漁業分野	×
	北垣水産	北垣 洋	6次産業化分野	○
	輸送船株式会社 専務取締役	深水 幸保	海運分野 海運組合	×
官	総務企画部財政課 課長補佐	蘇畑 康生		○
	総務企画部監理課 課長補佐	福田 貴夫		○
	経済振興部産業雇用創出課 課長補佐	藤川 勝利		○
	経済振興部観光おもてなし課 課長補佐	山川 康興		○
	健康福祉部健康づくり推進課 健康増進係長	益田 佳世		○
	健康福祉部福祉課 障害福祉係参事	寺 美有希		×
	教育委員会事務局教育部学務課 課長補佐	中田 光治		×
	教育委員会事務局教育部社会教育課 生涯学習係長	篠田 良		○
学	熊本大学政策創造研究教育センター 准教授	田中 尚人	座長	○
	熊本県立上天草高等学校 教頭	後迫 泉	上天草高校の活用等の観点	○
金	株式会社肥後銀行大矢野支店 支店長	川上 大輔	岩原様は7月に異動	○
	株式会社熊本銀行大矢野支店 支店長	佐渡 勝一		○
	天草信用金庫企業業務部理事部長・地域創生室長	渡邊 一成		○
その他	もりのともしび デザイナー	片島 雄一		○
	もりのともしび デザイナー	片島 荷風		○
	上天草市セカンドライフ支援ネットワーク 会長	木下 榮	移住、定住促進の観点	○
	姫戸ひかり保育園 副園長、寺院僧侶	深谷 恵了	子育て分野	×
	社会福祉法人上天草市社会福祉協議会地域福祉課 主事	船元 亜梨沙	地域コミュニティ等の形成、活用の観点	○
アドバイザー	くまもとDMC	浦上 英樹		○
	くまもとDMC	外山 由恵		○
オブザーバー	熊本県天草広域本部 総務部長	代理：杉本 良一	地方創生コンシェルジュ	○